

ユースによる海洋ゴミ対策キャンペーン 2020

報告書



2021年3月

特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会

1.キャンペーンの趣旨

海洋ゴミやマイクロプラスチックの問題が深刻ですが、少子高齢化が進んだ地方においてはゴミ拾いをするボランティアが高齢化するとともに数が不足しており、問題に対する対処が十分にできていない状況です。

そこで、地元のボランティア団体・NPO、行政、企業、学校等の連携が進んで、単なる清掃だけの活動から、より多くの市民が参画できるような環境イベントに発展させることを目的にこのキャンペーンは始まりました。

ですが、新型コロナウイルス（COVID-19）により大規模な清掃活動や地元住民参加型のイベントを実施することが困難になり、小規模ないし個人による清掃活動と、SNSによる情報発信キャンペーンに変更しました。

2.キャンペーンの概要・成果

このキャンペーンでは、以下の3つのことを実施しました。

(1) 小規模・個人清掃活動（河川や海岸、市街地、自宅の周り等）

- 荒川 11月1日21名、11月15日13名、11月22日28名
- 多摩川 11月8日4名、11月23日23名
- 鶴見川 11月22日12名
- 高尾山 11月21日14名
- 琵琶湖（湖底ごみ） 11月1日8名
- 鴨川 9月20日13名、11月22日10名
- 瀬田川 11月21日7名
- 大正川 9月27日2名、10月24日26名、12月6日6名、2月16日7名
- 大和川 11月22日35名
- 神奈川県江の島海岸 9月27日19名、11月21日9名
- 滋賀県サンシャインビーチ 11月21日6名
- 大阪府二色の浜 9月19日70名
- 兵庫県甲子園浜 11月22日17名
- 山形県酒田市海岸 9月14日～15日8名、11月7日～8日35人
- 長崎県白浜・長浜 9月13日8名、10月8日11名、11月3日2名、11月15日9名、11月23日3名
- 琵琶湖周辺 3月16日60名
- 市街地
 - 東京都渋谷区 10月17日11名、10月31日23名、11月15日17名
 - 東京都文京区 11月22日17名
 - 東京都北区 11月23日11名
 - 東京都立川市 11月21日2名
 - 千葉県船橋市 11月21日4名
 - 埼玉県本庄市 11月15日11名
 - 埼玉県川越市 11月21日6名
 - 群馬県高崎市 10月3日21名

栃木県宇都宮市 11月22日3名

茨城県取手市 11月23日3名

京都府京都市 9月11日5名、9月12日7名、9月14日6名、9月15日12名、9月19日3名

大阪府大阪市内 9月8日5名、9月9日5名、9月14日4名

大阪府万博公園 10月17日13名

奈良県奈良市 9月22日5名、10月31日5名

- Zoom を使って交流しながらの自宅周辺の清掃 計 316 名

合計；参加者 1,001 名

(2) SNS による啓発キャンペーン

- 会員一人ひとりが Twitter、Instagram 等の SNS を使って海洋ゴミ問題について発信する（ゴミ拾いの様子やエコバッグ等）
- 会員 1,512 名が参加
- 11月23日に「#Y4B」が Twitter のトレンド入り

(3) 海洋ゴミ問題に関するオンライン講演会・ウェビナーの実施

- 7月19日に海洋ゴミ問題に関する入門的なオンライン講演会を実施（講師：NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム事務局長・今村 和志氏）参加者 63 名
- 9月13日に海洋ゴミ問題に関するアドボカシー（政策提言）をテーマとしたオンライン講演会を実施（講師：NPO 法人パートナーシップオフィス理事・金子 博氏）参加者 26 名
- 3月13日に海の生態系や水産資源に関するワークショップを実施（講師：MSC 認証に関わる高橋麻美氏、ダイビングの会社に勤める川端潮音氏）参加者 14 名
- 学生による海洋ゴミに関するウェビナー 計 43 回実施、816 名が参加

(4) その他

- コスプレ de 海ごみゼロ大作戦 2020 at 東京タワー運営補助 9月12日14名参加

3. 活動の様子

荒川



多摩川



鴨川



鶴見川



サンシャインビーチ



琵琶湖



二色の浜



山形県酒田市宮之浦海岸



長崎県佐世保市白浜海水浴場



東京都渋谷区



奈良県奈良市



東京都文京区



栃木県宇都宮市



琵琶湖周辺



Zoom を使って交流しながらの清掃活動



11月23日にTwitterで「#Y4B」がトレンド入り

19 #忍たま

斜堂 学園長 安藤 乱太郎

盛り上がり度: 8.1 ツイート数: 100

ツイート

20 #ザキヤッチ

ぷちふる ラジオ 伊東歌詞太郎

盛り上がり度: 8.09 ツイート数: 290

ツイート

21 #y4b

盛り上がり度: 7.47 ツイート数: 280

ツイート

4.成果と課題

新型コロナウイルスの感染拡大のため、当初予定していた各地での地域住民を巻き込んだ清掃イベントの実施が困難となり、9月に安全管理が徹底できる会員のみで実施する清掃活動に変更するも、8月の感染者急増（第2波）のため実施を3月に延期しました。

当面は三密を避け、ソーシャルディスタンスを確保できる少人数かつ極力公共交通手段を使わない活動に集中するとともに、SNSを使った情報発信に今まで以上に力を入れました。

そこで見えてきた課題は以下の2点です。

- 多くの大学で課外活動禁止という方針を出しており、小規模の活動でも抵抗感を持つ会員が想定以上に多かった。当協会としても感染対策のガイドラインを作成し周知していったが、自粛期間が長引いた中で、屋外の活動に対して「なまっている」会員が多かったようである。
- 個人のSNSでボランティア活動を発信するということに対し、「ガチと思われたくない」ということで後ろ向きである会員がかなりの割合いた。イベントに「一参加者」として参加することはいいが、自分のアカウントからこの問題についてフォロワーに知らせるといったことの方をハードルが高いと感じる学生が多い。

今後は大規模な活動だけでなく、個々人が海洋問題を「自分ごと」として発信するとともに、継続したアクションにつなげていくための取り組みに今まで以上に力を入れていく必要があります。

その中でも、SNSで積極的に発信する1年生に上級生が刺激を受けていたり、一人では活動するのが難しいと感じる人たちがZoomを使って会話しながら清掃活動といった自然発生的な取り組みが出てきました。

大学ベースだけでなく、自分の居住地を中心として清掃する中で、改めて自分の身近な問題として認識した学生も多かったです。

また、3月8日にJICA中国事務所主催の海ゴミに関するワークショップで発表させていただくとともに、中国のNGOと情報交換することができました。

コロナ禍が終息した後になりますますが、中国での清掃活動も企画していく予定です。

特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会 (IVUSA)

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂 1-34-4 B-102

TEL/FAX 03-3418-1840

E-mail ivusa-office@ivusa.com

ウェブサイト <https://www.ivusa.com/>